

## 編集後記

令和元年10月の臨床検査センター運営協議会で、臨床検査センターが50周年を迎えるにあたり、その記念事業の一つとして50周年誌を発行することが決まりました。

その編集方針として、内容を簡素化すること及び発行部数を少なくすることし、上ノ町会長のご指示のもと、編集委員会を組織して原稿の作成及び資料の収集作業を進めることとなりました。編集委員会のメンバーは委員長に上ノ町仁臨床検査センター長、編集委員に上野正人臨床検査センター副センター長、山口憲一臨床検査センター参与、楠本真一中央事務局財務管理課課員、東耕治参与・会長付特命業務担当が命ぜられました。

記念誌はこれまで20周年誌が平成4年3月20日に、30周年誌が平成13年5月31日にそれぞれ発行されています。50周年誌は30周年誌以降の平成13年から令和2年までの20年間のあゆみを中心として編集されています。本来であれば、臨床検査センター開設50周年及び新臨床検査センター落成記念として令和3年1月に開催される予定であった記念式典が、新型コロナウイルス感染症のため同年4月以降に延期されることになり、今回の50周年誌に掲載できなかったことが大変残念でありました。

臨床検査センターの実績、とりわけ損益状況は平成14年度からは赤字となり、収支状況も平成19年度からは赤字となり、厳しい運営状況を脱却するための新たな体制整備について数年にわたり検討がなされ、平成23年2月に開催された第201回

臨時代議員会において検査・集配体制の抜本的な見直しによる新体制を確立し、経営改善を図っていくことが決定されました。

平成24年1月からは新たな人員体制でスタートし、大幅な人件費等の削減により平成25年から収支状況は若干黒字となりましたが、損益状況を改善するまでには至りませんでした。

継続的にかつ安定的な運営状況を目指し、何も変わらない、何も変えないを大前提に平成29年4月から（株）エスアールエル様との間で業務委託契約を締結し、新体制のもと従来以上に3S（精度・スピード・サービス）の向上に取り組んでおり、平成29年度からは損益・収支状況とも黒字へと改善されております。

上ノ町会長と東社長様のご挨拶には、相互信頼のもと検査センター事業を進めてこられた心の内を書かれておられますので、是非ご熟読いただきたいと思っております。

臨床検査センターが発展していくためには、会員の先生方のさらなるご利用・ご支援が不可欠ですので、今後とも引き続きよろしくお願いいたします。

末尾になりましたが、50周年誌の発行にあたりまして、多大なご協力・ご助言をいただきました斯文堂株式会社様並びに同社小原健営業課長様に深謝いたします。

参与・会長付特命業務担当 東 耕治

## 鹿児島市医師会臨床検査センター50周年誌

令和3年3月31日

発行 公益社団法人 鹿児島市医師会  
〒892-0846 鹿児島市加治屋町3番10号

印刷所 斯文堂株式会社  
〒891-0122 鹿児島市南栄2丁目12番地6